

かぼちやのホモプシス根腐病（新発生）

令和5年8月下旬以降、上川地方のかぼちや栽培ほ場において、晴天の日に茎葉の萎れが見られるようになり、茎葉の生育が衰退していった。数年前より同時期の萎れが観察されていたが、湿害と判断されていた。発生株の毛細根、側根を観察したところ、ホモプシス根腐病に特徴的な黒い墨様の偽子座が観察された。り病部から糸状菌を分離したところ PDA 培地上で灰色の菌叢を形成し、培地裏面が黒色を呈する糸状菌が分離された。分離菌をホモプシス根腐病菌の種特異的プライマーで PCR を行い、目的サイズの増幅断片が確認されたことからホモプシス根腐病菌 (*Diaporthe sclerotioides* (Kesteren) Udayanga, Crous & K. D. Hyde) と同定した。

(上川農試・上川農業改良普及センター)



左：根の偽子座の様子、右：腐敗した根
(左：技術普及室 竹永 原図、右：上川農試 柏森 原図)